

新入居者紹介

208・301・311号室
(株)ライステック CIGS研究所

2015年1月入居



飯沼 一元社長

設立:平成14年12月20日
代表者:代表取締役 飯沼一元
<http://www.ricotech.jp/cigs/cOtoppage.html>

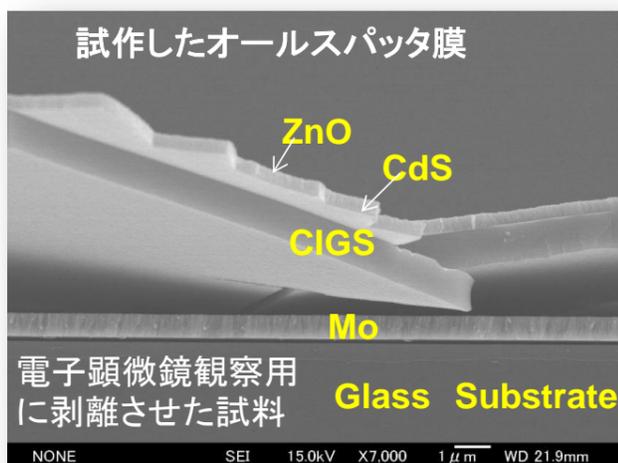
■HI-Cubeでの活動内容は?

このたび、HI-Cubeに(株)ライステック CIGS研究所を開設しました。CIGSとはCu-In-Ga-Seの化合物半導体で太陽電池の材料として有望視されています。現在の太陽電池の90%はシリコンです。そして、日本は世界の後塵を拝し、中国などにかないません。私たちの狙いは、シリコンより安く、且つ、効率の高い太陽電池をこのCIGS膜で実現することです。CIGS膜を含む5層構造の太陽電池を、全てスパッタ・プロセスで実現することでコストダウンを図り、効率の改善も同時に達成することを狙っています。これは世界で誰も実現した人はいないのです。成功すれば、青色LEDを上回る画期的成果になるでしょう。壮大なロマンを感じています。

鍵を握るのは、スパッタ技術です。研究は東北大学客員教授で、元NTT研究所、静岡大学などで光電子デバイス・化合物半導体の研究をされてきた皆方誠氏に委託しています。彼はスパッタ法で、日本最初のZnO膜超音波デバイスを作った人物です。産婦人科や内科検診等でおなじみの超音波診断装置等に広く使われていますね。



代表研究者の皆方教授



CIGS薄膜の電子顕微鏡写真

■自己紹介をお願いします

私は会津白虎隊で自刃し、奇跡的に唯一助かった飯沼貞吉の孫です。仙台出身で東北大学電子工学科で学び、筋を通した生き方を叩き込まれました。大学卒業後、NECに勤務し、中央研究所長などを務めた後、ライステックを創業しました。

■御社の概要について教えてください

弊社はコメ技術会社です。「米ぬかを食卓へ」というロマンを掲げて13年前に創業しました。玄米の栄養素の90%以上は、米ぬかに含まれています。ビタミン、ミネラル、抗酸化物質など健康に役立つ成分が豊富に含まれていますが、殆ど廃棄されています。そこで、米ぬかを美味しく食べられるように加工して販売し、国民の健康に貢献しようと考えました。現在、我が国の国民医療費は40兆円に迫り、このうちの約10兆円が、がん・糖尿病などの生活習慣病の医療費です。米ぬかを食べる習慣が普及すれば医療費は1兆円以上削減できると見込んでいます。

Contents

■新入居者紹介 1

・(株)ライステック CIGS研究所

■製品紹介 2

・(株)SPLYZA
・(株)オプトメカトロ

■出展・開催レポート 3

・テクニカルショーヨコハマ2015
・HI-Cube懇話会

■ビジネスコンテスト 4

・「第2回はましんCHALLENGE GATE」最終選考会

■IM室より 4

・マーケティング出張相談会
・技術開発等助成制度公募説明会



■入居者の皆様へひと言

浜松はベンチャースピリットに富んだ人物が多く、皆さまの仲間に入れていただけたことを喜んでいますが、私は東京にいたことが多いため、是非、よろしくお願ひいたします。